

令和4年第10回（12月）  
 西原町議会定例会  
 一般質問通告

質 問 日	質 問 議 員		
12月2日(金) 4人	① 伊 集 悟	② 山 城 勝 貴	③ 儀 間 駿太郎
	④ 真 栄 城 哲		
12月5日(月) 4人	⑤ 屋比久 満	⑥ 宮 里 洋 史	⑦ 大 田 實
	⑧ 大 城 好 弘		
12月6日(火) 4人	⑨ 喜 納 昌 盛	⑩ 大 城 誠 一	⑪ 伊 計 裕 子
	⑫ 前 里 光 信		
12月7日(水) 3人	⑬ 新 田 宗 信	⑭ 長 浜 ひろみ	⑮ 仲 松 勤

## 一般質問通告内容(令和4年 第10回定例会)

質問者	① 伊 集 悟 議 員	質問の相手
1. 学校の働き方改革の進捗について	<p>去る6月議会では、令和3年度の時間外勤務の減少目標について、西原中学校以外は未達であると答弁がありました。また、上限目安の時間外在校時間月45時間内に6校すべてが収まっており、一定の改善傾向にあることも確認しました。そこで伺います。</p> <p>(1) 本年度の教職員の働き方改革の進捗状況について。                      (2) 6月議会では、実際の勤務時間とは異なる過少申告や持ち帰り仕事もあり得るとの答弁もありました。実態把握などの取り組みは行われているのかどうか。                      (3) 休日のスポーツ部活動の地域移行については、現行地域協力体制の本町の良き環境を活かし、外部指導者(西中・東中で28名)を部活動指導員としての活用を検討していくとの方向性を確認しました。                      現段階での進捗状況と課題について。</p>	教育長
2. コミュニティ・スクール(学校運営協議会)での情報共有について	<p>不登校やいじめ、働き方改革の推進などの学校の課題を解決するには、児童生徒や保護者、地域の理解と協力は不可欠です。4月から始動した本町のコミュニティ・スクールですが、どの学校も第2回学校運営協議会を終えたと思います。そこで伺います。</p> <p>(1) 6月議会では、働き方改革、部活動の地域移行について、教育長から文科省方針の「基本的には学校以外が担うべき業務」、「学校の業務だが必ずしも教師が担う必要のない業務」、「教師の業務だが負担軽減が可能な業務」の3つ観点を説明いただき、その業務の仕分けをする場がコミュニティ・スクールであると答弁されました。6校のそれぞれのコミュニティ・スクールの場で、具体的にどのような情報共有をし、課題の確認などしたのか。</p>	教育長

<p>3. 町内道路の安全対策について</p>	<p>(2) 昨年12月議会では、不登校の課題の対応にあたり教育機会確保法に基づき、本人の希望を尊重し、必ずしも学校復帰はゴールではない、不登校は問題行動ではない、休むことは大切なことなどの基本的な考え方について、コミュニティ・スクールを含め、町全体での周知や理解の促進を求めた際、周知できるよう努力する旨、答弁いただきましたが、進捗状況について。</p> <p>(1) 昨年9月議会に呉屋地域の西原中学校に抜ける途中に車がすれ違えないほどの狭小な箇所があり、児童が接触の危険もあるので、地域子ども会からカーブミラーの設置の要望があったが進捗状況について。</p> <p>(2) 今年3月に津花波自治会長とともに県道38号の津花波入口付近の道路の課題（段差・大きな穴・信号待ち車両及び電信柱による歩行困難・排水不良による水溜まり・水はね）の安全対策を求めたが、進捗状況について。</p> <p>(3) 去る9月にローソン津花波店前の交差点・県道38号から役場向けの町道接続部分に排水不良で雨天時はもちろん、雨天後もしばらく水溜まりが続き、児童生徒ら歩行者が水はねの被害に遭ったり、横断歩道上を渡れない状況があり、その改善を求めたが、進捗状況について。</p>	<p>町長</p>
<p>質問者</p>	<p>② 山城勝貴議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 子育て短期支援事業について</p>	<p>「ゆいまーるにしたらわらびプラン2020」では今後の取り組みとして、子育て短期支援事業（ショートステイ）の推進が示されています。また、令和3年4月1日より、近隣に実施施設がない場合、この事業において里親等に直接委託して実施することが可能となっています。そこで伺います。</p> <p>(1) 子育て短期支援事業についてのニーズ、地域から相談等はあるか伺います。</p> <p>(2) 事業の見直しがあり里親等にも委託可能になったが、現在西原町ではどのくらいの里親が登録されているか伺います。</p>	<p>町長</p>

<p>2. 町内における障がい福祉サービスに関する情報発信について</p>	<p>(3) 今後ニーズに応じて里親等への委託によって事業実施の方向性は検討可能か伺います。</p> <p>障がい福祉に関する町内の事業所等の情報がバラバラで検索しづらいと福祉事業者、当事者の方々から声が上がっています。事業所の所在地、活動内容などが一覧できる Web や紙面上での情報ツールが必要ではないかと考えます。そこで伺います。</p> <p>(1) 児童デイ、就労系事業所、相談支援事業所など障がい福祉サービス事業所等の情報を統合したガイドブックの作成は検討可能か伺います。</p> <p>(2) 障がい福祉サービス事業所等の情報をオープンデータ化することは可能か伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 地域包括支援センターについて</p>	<p>次年度に向けて、地域包括支援センター運營業務の委託事業所を募集し今後選定を行っていくと思われませんが、現在の状況について以下の点を伺います。</p> <p>(1) 応募事業所数とスケジュールについて伺います。</p> <p>(2) 委託を行ってきた 5 年間で振り返り行政側として見えてきた課題について伺います。</p> <p>(3) 介護ニーズが一層高まっていく中で、この先の 5 年間、地域包括支援センターが一箇所のみでは、現場職員の更なる負担増が懸念されます。委託する側としてセンターの増設や委託費の拡充などの検討は行っているのか伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>4. 学校設備環境の安全対策について</p>	<p>各学校、施設、建物だけでなく、フェンスやゲートなどの設備にも老朽化が見られる現状があります。坂田小学校では、裏門側に設置されているフェンスの老朽化による破損が進んできており、児童の事故や怪我の懸念があります。安全管理、防犯対策の一環として、学校設備の把握状況や対策について伺います。</p>	<p>教育長</p>
<p>5. 農地利用意向調査について</p>	<p>遊休地化している、またはおそれのある農地所有者等に、今後の農地の管理方法について意向を確認するための「利用意向調査」が今年度も行われている状況であると思えます。そこで伺います。</p>	<p>農業委員会 長</p>

<p>6. TNR 活動状況や地域猫の普及啓発について</p>	<p>(1) 回答率と意向についての傾向を伺います。  (2) 調査で見えた課題と対策について伺います。</p> <p>これまでも地域猫活動や TNR について議論されてきた経緯がありますが、棚原区でも近年個体数が増えてきており、ごみが荒らされるなどのトラブルも増加しているため対策を求める声の一部上がっています。そこで伺います。</p> <p>(1) 各自治会へのアプローチや意見交換の状況について伺います。  (2) 地域猫についての町民全体への普及啓発活動状況について伺います。  (3) 町民のボランティア活動を支援するために他市町村のように行政枠で定期的に TNR チケットの確保について検討可能か伺います。</p>	<p>町 長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>③ 儀 問 駿太郎 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 選挙について</p> <p>2. 町内公共施設の現状について</p>	<p>今年は選挙イヤーといわれるほど、県内各地で数多くの選挙が行われました。本町でも、7月に参議院選挙と9月に県知事選挙・町議会議員選挙が行われました。そこで以下についてお聞かせください。</p> <p>(1) 県知事選挙・町議会議員選挙の年代別の投票率をお聞かせください。  (2) 各種選挙を終えての反省点等があればお聞かせください。</p> <p>本町には様々な公共施設がありますが、以下についてお聞かせください。</p> <p>(1) 町民体育館内にあるトレーニング室の利用率をお聞かせください。  (2) トレーニング室にあるトレーニング器具の整備・点検の在り方とすべての器具の現在の状況をお聞かせください。  (3) トレーニング室・町民体育館・町民陸上競技場の年間の維持管理のコストをお聞かせください。</p>	<p>選挙管理委員長</p> <p>教育長</p>

<p>3. 学校教育について</p>	<p>(1) 目まぐるしく変わっていく社会の中で、教育の在り方も少しずつ変化や改革等を行っていかないといけない時代になっているかと思えます。そこで、以下についてお聞かせください。</p> <p>ア ICT 支援員の配置の現状は、どのようになっているか。</p> <p>イ 学校現場のデジタル化に向けて、本町では現在どのような取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 本町は 2 学期制を取り組んでいるが、県内の他市町村では 3 学期制へ戻した自治体もある。そこで以下についてお聞かせください。</p> <p>ア 2 学期制度と 3 学期制度のメリット・デメリットをお聞かせください。</p> <p>イ 2 学期制度と 3 学期制度を比較して、現在も 2 学期制を維持している理由をお聞かせください。</p> <p>(3) 県内では、若い世代の薬物事件・問題がここ近年増加傾向にある状況です。そこで、以下についてお聞かせください。</p> <p>ア 現在のこの問題について、本町としてどのように考えているのか。</p> <p>イ 本町で薬物問題に関する指導等は、どのように取り組んでいるか。</p>	<p>教育長</p>
<p>4. 地域活性化について</p>	<p>地域を元気にするためには、各自治体や各種団体との連携が必要かと思えます。そこで、地域活性化に向け、今の本町が取り組んでいる事をお聞かせください。</p>	<p>町長</p>

質問者	④ 真 栄 城 哲 議 員	質問の相手
1. 西原西地区土地区画整理事業について	<p>当該事業の大幅な遅れの原因の一つである予算を確保する為、今年5月に西原町議会は「西原西地区土地区画整理事業」を早期完了させるための安定的な予算確保についての意見書を県知事、内閣官房長官、関係大臣へ提出した。また、現在本町は、沖縄県と社会資本整備総合交付金の活用に向け調整を行っている。以下の件を伺う。</p> <p>(1) 意見書について、予算措置の進展はあったのか、その現状を伺う。</p> <p>(2) 先の議会答弁において、現在のハード交付金から社会資本整備総合交付金の活用について、現在沖縄県と調整中とあったが、その結果について伺う。</p>	町 長
2. 地域コミュニティ交通の整備について	<p>車社会の進展により、公共交通の利用者が減少し、全国的にバス路線の廃止や減便等が相次ぐ一方で、高齢者の交通事故が増加し大きな社会問題となり、運転免許証を返納する方も増えてきています。</p> <p>マイカーに頼ることができず、買い物や通院など日常生活の移動に困る人がいることも現状であり、将来的にも増加することは、容易に予測できる。以下の件を伺う。</p> <p>(1) 本町も平成20年度に「西原町公共交通会議」が、3回に渡り開催された。その後、議論がなされていないが、その理由を伺う。</p> <p>(2) (1) について、あれから14年の歳月が過ぎ、現在の社会状況は、当時と大きく変化し、その必要性は、将来に向けて重要と考えるが、当局の考えを伺う。</p>	町 長
3. 子育て応援・情報交換の場所づくりについて	<p>コロナ禍で、今までの様に気軽に集まれなくなっている状況が続く、子育てに関する情報交換などができなくなっている。将来を担う子どもたちを育てるママやパパが、子どもと一緒に集える場所づくりは必要である。以下の件を伺う。</p> <p>(1) 現在、本町の実施している子育て応援の施策を伺う。</p> <p>(2) 気軽に集える場所づくりの必要性について、本町の考えを伺う。</p>	町 長

質問者	⑤ 屋比久満議員	質問の相手																																
1. 道路事業について	<p>西原町内では、道路整備事業が行われていますが、町民から何時になったら完成するのかと問合せが多くあります。そこで以下の街路事業について、お聞きします。</p> <p>(1) 以下の路線の、進捗率、完成予定年度、今年度予算を伺います。 「資料提供希望」</p> <table border="1" data-bbox="421 546 1198 981"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>進捗率</th> <th>完成予定年度</th> <th>今年度予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東崎・兼久線</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>兼久・安室線</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>安室・呉屋線</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>兼久・仲伊保線</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小波津川北線</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小波津川南線</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小波津屋部線</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 浦西駅高架橋からマックスバリューまでの県道整備事業の進捗状況と完成年度を伺います。</p> <p>(3) 国道329号線与那原バイパスの我謝交差点から朝夕大混雑していますが、町として、県へ要請等は行ったのか伺います。</p>	事業名	進捗率	完成予定年度	今年度予算	東崎・兼久線				兼久・安室線				安室・呉屋線				兼久・仲伊保線				小波津川北線				小波津川南線				小波津屋部線				町長
事業名	進捗率	完成予定年度	今年度予算																															
東崎・兼久線																																		
兼久・安室線																																		
安室・呉屋線																																		
兼久・仲伊保線																																		
小波津川北線																																		
小波津川南線																																		
小波津屋部線																																		
2. 議事録について	<p>幹部会議のメモ問題で、沖縄県で問題になっていますが本町では、どのようにしているのか以下についてお聞きします。</p> <p>(1) 幹部会議の議事録は作成しているか、伺います。</p> <p>(2) 例規（規定）は有るか伺います。</p>	町長																																
3. 待機児童について	<p>保育園の待機児童問題が発生しているが、保育士不足解消に向けた施策等について、以下についてお聞きします。</p> <p>(1) 町内の保育園の待機児童数を伺います。</p> <p>(2) 保育園の受け入れが足りないのか、それとも保育士が足りないのか伺います。</p> <p>(3) 保育士不足解消に向けた施策があれば伺います。</p>	町長																																



<p>4. 清掃作業について</p> <p>5. 児童虐待について</p>	<p>自治会ごとに年2回の清掃作業を行っているが、作業に参加した人が事故や怪我した場合について以下をお聞きします。</p> <p>(1) 町で清掃作業に参加した方々の保険加入について伺います。</p> <p>(2) 側溝作業の際、コンクリート側溝やグレーチングを開けて作業する際に、小型の重機等の貸し出しをしてほしいと地域から声があるが、町の見解を伺います。</p> <p>11月は、児童虐待防止推進月間でしたが、本町の子どものたちの児童虐待について伺います。</p> <p>(1) 小学校、中学校、児童虐待の現状を伺います。</p> <p>(2) どの様な児童虐待があるのか伺います。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>
<p>質問者</p>	<p>⑥ 宮里洋史 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 子育て支援について</p> <p>2. 災害時対応について</p> <p>3. 福祉行政について</p> <p>4. 観光行政について</p>	<p>子ども医療費助成制度を現行から18歳までに引き上げると、どれくらいの予算が想定されるか。</p> <p>大雨による水害や台風による停電や断水等が発生した際、電源を必要とする町民に対して町はどのような対応をしているか。また平時でのアナウンスはどのように行っているのか。</p> <p>コミュニティバス等地域の交通手段の要望は長年の課題であるが、町としては今後どのように考えているのか。全体的な取り組みではなく、まずはできることから模索できないか。</p> <p>観光振興するうえで東崎地域の水路を活用できるのではないか。活用するにあたっては水質も改善していく必要があると思う。兼久川・小波津川流域の下水接続状況はどうか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

5. 行政サービスについて	町民への対応について、「真摯に対応してくれない」等以前より話がある。そのような話に対して総括して感じるのは、町民の立場に寄り添っていると思われていないことである。町の考えを伺う。	町 長
6. 教育行政について	プールの維持管理には、年間どのくらいの予算がかかるのか。以前より多数質問があるが、他市町村の例では民間管理のプールを利用している自治体もある。今後のコスト面も踏まえて運用を考えてもいいのではないか。	教育長
7. 指定管理制度について	以前よりある西原町運動公園へ指定管理者制度導入について町の考えを伺う。	教育長
質 問 者	⑦ 大 田 實 議 員	質問の相手
1. 大雨の際の冠水、排水の対策	字翁長275-2番地付近、東部消防署西原支署辺りから県道38号に通ずる道路で右側に住宅やヤードが点在する地域で、大雨の際辺りはかなり排水が悪い状況である。この道路は県道155号線になっておりますが規格の小さいU字溝が採用され道路幅員、道路事情が（凹）状になっており現在既存のU字溝では排水能力が甚だ厳しいかと思えます。早急に側溝から改善するよう県に要請すべきではないか。	町 長
2. 東側サンライズプロジェクト連携について	この間の新聞で、クルーズ船の受け入れ再開に国、県、船社関係機関は非常に前向きな姿勢である。東海岸地域サンライズ推進協議会を活性化させる上でも重要な施策ではないか。これまでクルーズ船が543回入港し、沖縄県（先島も含む）が全国トップとなりその中で中城港に18回入港したようです。今後とも待合ターミナル建設、シャトルバス駐車場等課題は山積するが、経済効果、雇用効果に期待されるので是非クルーズ船の誘致をすべきではないか。	町 長
3. マルチコピー機導入について	以前にも質問したが、コンビニエンスストアにおける証明書交付（マルチコピー機）の導入はどうなっているのか。	町 長

質問者	⑧ 大城好弘 議員	質問の相手
学校教育制度について	<p>小中一貫教育について 小中連携教育から小中一貫教育への経緯</p> <p>これまで、中学校入学後、新しい環境での学習や生活に不適応を起こす、いわゆる「中1ギャップ」の解消に向けた対応のため、小学校から中学校への円滑な接続を図ることを目指し、小学校と中学校との連携「小中連携教育」が進められてきた。</p> <p>小中連携教育を発展させ、小学校と中学校が別々の組織として設置されていたことに起因していた様々な課題の解消を目的に、教育主体・教育活動・学校マネジメントの一貫性を確保した取り組みを容易にし、すべての教職員が、義務教育9年間に責任を持って教育活動を行う小中一貫教育の取組を継続的・安定的に実施する制度的基盤を整備するに当たり、平成27年6月、学校教育法等関係する法律が改正され、平成28年度から小中一貫教育が制度化された。</p> <p>平成28年12月26日文科科学省より小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引きが教育委員会に配布されております。その対応について問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 義務教育9年制について、教育長の所見を問う。</li> <li>2 教育委員会として対応について伺う。</li> <li>3 小中一貫校のメリットとデメリットについて伺う。</li> <li>4 移行に伴う課題と問題点について伺う。</li> <li>5 令和3年5月1日現在、9年制に移行した学校は、全国で151校、59,000人となっておりますが、本町の今後の取組と周知について伺う。</li> </ol>	教育長

質問者	⑨ 喜納昌盛 議員	質問の相手
町政全般について	<p>1 西原町の次年度予算編成の進捗状況と、その見通しはどうなっているか。</p> <p>2 西原町中央公民館の再編整備に係る基本計画策定に向けた検討委員会への諮問の現状は。想定事業スケジュール通りいけるのか。</p> <p>3 「西原農業振興地域整備計画」策定に向けての関係地権者・農家説明会が開かれたが、その概況はどのようなものか。又、アンケート調査も予定されているが、その対象者数は如何ほどか。</p>	町長  町長  町長
質問者	⑩ 大城誠一 議員	質問の相手
<p>1. 認定こども園の取り組みについて</p> <p>2. インボイス制度について</p>	<p>令和5年4月に開園する坂田こども園（仮称）園児募集状況についてお聞きします。</p> <p>(1) 坂田こども園利用案内によると利用定員は、5歳児3クラスで90人、4歳時1クラスで30人、3歳児1クラス15人ですが、それぞれの入園申し込み人数について伺う。</p> <p>(2) その内1号認定の人数について。</p> <p>(3) 坂田小学校区以外からの入園希望はありましたか。</p> <p>(4) 申し込み人数が定員に達しない場合、追加募集は。</p> <p>来年10月1日から、実施されることになっている消費税のインボイス制度、昨年よりこの制度の廃止・中止や延期、シルバー人材センターへの特例を求める意見書が地方議会で採択されているとのこと。</p> <p>又、本議会の令和4年3月定例会において、西原町シルバー人材センターからの要請があり、「超高齢化社会にチャレンジするシルバー人材センターの決意と支援の要望」のなかで、同制度が実施された場合事業運営に及ぼす影響は極めて大きいとしている。</p>	町長          町長

<p>3. 西原町浄水場周辺でのPFOS等検出後の対応について</p>	<p>(1) インボイス制度（適格請求書等保存方式）の開始で存続は危機的状況にあるといわれている。どのような影響が考えられるのか。</p> <p>(2) インボイス制度が実施されると、地方自治体の運営にどのような影響があるのか。</p> <p>(3) 地方自治体と取引する際に、取引業者はインボイス制度への登録が必要となるか。</p> <p>4月16日新聞で、西原浄水場周辺でPFOS・PFOA検出後の対応について、総務部長は6月定例会宮里議員へ小那覇工業団地内の事業所を対象に沖縄県が調査を行っているとの答弁であった。</p> <p>(1) 調査結果の報告はあったのか。</p> <p>(2) また、新たな地下水調査については、地下水の範囲を特定するための絞り込み調査を予定しているとのことであったが実施状況は。</p>	<p>町長</p>
<p>4. 子どもの虫歯を減らす施策について</p>	<p>「子どもの虫歯を減らす施策を求める決議」は、さる6月定例議会において提案され、全会一致にて可決し、町長あて送付してある。</p> <p>西原町において保護者の仕上げ磨き等を乳幼児から小学校入学後も積極的なサポートを啓発するとともに、フッ化物洗口を推奨するよう強く要望した。</p> <p>歯の健康を損なうと、咀嚼機能が低下するなどして肥満や生活習慣病につながるといわれ、歯の健康が生涯にわたって全身の健康に大きくかかわることを考えれば早急な改善が求められる。</p> <p>(1) 子どもの虫歯を減らす施策について。</p> <p>(2) 町内各学校における歯磨き指導の実施状況について。</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>5. 町内小中学校の教員不足について</p>	<p>10月13日の新聞で、県内の公立学校で教員が不足している問題で、学級担任の未配置数が9月当初で52人に上っている。特に小学校は6月から3倍以上増えており42人が未配置とある。町内小中学校の状況は。</p>	<p>教育長</p>

質問者	⑪ 伊 計 裕 子 議 員	質問の相手
1. マイナンバー制度について	<p>岸田政権が現行の健康保険証を2024年秋に廃止してマイナンバーカードに一体化させると表明しました。マイナンバーカードの取得は法律で任意とされています。国民皆保険のもとで、ほとんどの国民が持つ健康保険証をなくしてマイナンバーカードに統合するというのは事実上の強制です。生活に欠かせない保険証と引き換えにマイナンバーカードの取得を迫るのは強権的ではないでしょうか。健康保険証廃止・マイナンバーカード一本化に反対するネット署名が緊急に呼びかけられ、11万5千人を超えています。医療現場の実態・意識調査が行われましたが、保険証廃止に反対する医療機関は73%にのぼり、オンライン資格確認システムを導入した医療機関のうち41%でトラブルが発生するなど、懸念や混乱が広がっている実態が浮かび上がっています。そこで、健康保険証2024年秋廃止表明についての町長の見解を伺います。</p> <p>(1) マイナンバーカードについて日本弁護士連合会は、「個人番号カードの裏面に記載されている個人番号は、悉皆性、唯一無二性を持ち、原則生涯不変の個人識別情報である。確かに、行政事務上は、個人番号で管理されている個人情報の紐づけには極めて便利である。しかし、個人番号が不正利用されれば、個人データが名寄せされデータマッチング(プロファイリング)されてしまう危険がある。」と指摘していますが、本町は昨年よりも積極的にマイナンバーカードの普及を進めています。町民の個人情報を保護することができるのでしょうか。</p>	町 長
2. インボイス制度について	<p>来年10月に導入されようとしているインボイス制度(適格請求書等保存方式)は、新しい消費税の仕入れ税額控除の方式です。今までは、全ての事業者からの仕入れ等について仕入税額控除ができましたが、インボイス制度後は、国に登録した事業者のみが対象です。登録する事業者は、すべて消費税の課税業者になる必要がある制度に変えたのです。売上高1000万円以下のフリーランスや中小・零細企業は、今まで免税業者として消費税の納税義務</p>	町 長

<p>3. 介護保険制度見直しについて</p>	<p>はありませんでしたが、登録をすると納税義務が発生し、赤字経営になっても身銭を切って消費税を納めなければなりません。免税業者のままでいたら課税業者との取引ができなくなることが想定されます。インボイス制度の影響を受けるのは、個人タクシー、文化・芸術、シルバー人材センター、農家をはじめ電気・ガスの検針員など多岐にのぼり、1000万人前後ともいわれています。さらに、地方自治体の公共事業などからも免税業者が排除される危険があることも指摘されています。そこで、次の点について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) インボイス制度への町長の見解。</li> <li>(2) 町内の免税業者数。</li> <li>(3) 町議会で採択したシルバー人材センターからの陳情の措置要望についての対応の経過。</li> <li>(4) 町の特別会計や学校給食の食材等、さわふじ未来ホール使用料その他への影響。</li> </ol> <p>2024年度介護保険制度改定に向けた議論がされています。政府の検討見直し内容として、介護サービス利用料の原則2割負担や2割・3割負担の対象拡大、要介護1・2の訪問介護や通所介護を自治体の「地域支援事業」に移行、ケアマネジメント有料化、介護老人保健施設などで多床室の部屋代を徴収するなどです。介護保険史上最悪といわれる制度改悪を止めようと全国で大きな運動が起こっています。そこで、以下の点について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 政府の検討見直し内容についての町長の見解。</li> <li>(2) 利用料原則2割負担になる場合の町内対象者数。</li> <li>(3) 現在、要介護1・2の方の人数。</li> <li>(4) 要介護1・2が地域支援事業へ移行された場合に想定される影響。</li> </ol>	<p>町長</p>
-------------------------	--	-----------

質問者	⑫ 前 里 光 信 議 員	質問の相手
1. 町政について	<p>(1) 国民健康保険特別会計について、財政の健全化の為に一般会計から法定外拠出している現状ですが、次の質問を致します。</p> <p>ア この保険に加入している町民は何名おられるか。</p> <p>イ 治療費が多くかかった順にベスト 5 まで金額を示して下さい。</p> <p>ウ それらはどのような病名でしたか。ベスト 5 まで示して下さい。</p> <p>(2) 町民の健康管理について</p> <p>人工透析治療を受けている患者は、2019 年のデータで全国で 34 万 4,640 人だという。これは国が指定した難病故、治療費は国が払うと思うが、1 人 1 ヶ月約何万円ですか。この治療を受けている町民は、何人いるんですか。又、町の持出もありますか。</p> <p>(3) 今年の「西原まつり」について</p> <p>今年の「西原まつり」は、これまでと少し違う形で計画されていると思います。従来とは時期も、実施する場所も、あるいは出しものも変わった形になっているかと解します。概要及びその理由の説明を求める。</p> <p>(4) 「世界のニシハランチュ大会」について</p> <p>先日実施されたこの大会は、コロナ禍の課題の中で参加人数も制限されたものの、その内容は良く出来たと評価します。町長や担当課はその成果をどのように分析しているか。又、反省すべき点もあったとすればどのようなものか。次回の為に。</p> <p>(5) 高齢者の買物援助事業について</p> <p>西原町も高齢化はいやおうなしにどんどん進んでいる。ならば、その方々の生活に行政が支援をする事も重要であると考えます。そこで、買物に行く高齢者の方々をそれぞれの地域から団体にスーパーやショッピングセンターにお連れし、買物が終わった頃、一定の</p>	町 長



<p>2. 教育行政について</p>	<p>場所に集ってもらい、高齢者の住宅地域までお届けする。いわゆる買物巡廻バスを行政が企画し実行することについて、町長の考えをお聞きしたい。</p> <p>沖縄キリスト教学院大学の教授達が西原町立の4小学校で理科の授業での実験指導を始めてから、今年度中に1000回を数えると、担当している内間教授からお聞きしたが、その努力に対して、町教育長はどのような考えをお持ちでしょうか、お聞きします。</p>	<p>教育長</p>
<p>質問者</p>	<p>⑬ 新田宗信 議員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>施政方針より</p>	<p>1 『平和で人間性豊かなまちづくり』について</p> <p>(1) 地域活性化事業の推進</p> <p>ア 各自治会の加入率促進にどのように協力していくのか見解を問う。</p> <p>イ .町職員の自治会への加入または、活動への参加を促進していくのか。</p> <p>ウ 自治会が必要とする集会所・または公民館等のハード事業について国による各省庁の補助事業メニューを求める。</p> <p>(2) 学校運営協議会制度の導入について</p> <p>学校運営協議会制度の導入までのいきさつを求める。</p> <p>(3) 生涯学習の振興</p> <p>ア 中央公民館の整備計画についてPPPやPFI事業の民活を検討中とのことだが、建設費に伴う町負担分の比率と完成後の維持管理またはその他の経費についてはどの様になっているのか。</p> <p>イ 過去に庁舎建設にてPFI事業を検討し断念したことがあるが、その経緯を伺う。</p> <p>2 『安全で環境にやさしいまちづくり』について</p> <p>消防・防災体制等の確立</p> <p>(1) 『災害等から町民の身体、生命及び財産を守る』と掲げていますが、去った5月31日の小波津川の氾濫に関する総括を伺う。</p>	<p>町長</p> <p>教育長</p> <p>町長 教育長</p> <p>町長</p>

	<p>(2) 5月の水害において消防との連携が図られていないが、その原因を求める。</p> <p>(3) 国道329号線の水害によるサンエー西原シティの避難所としての役割は如何程のものか。</p> <p>(4) 小波津川周辺に設置されている景観条例に伴い、今回、設置予定の人道橋（平園橋）の設置に伴う住民からのアーチ橋要請に対する見解を伺う。</p> <p>3 『豊かで活力のあるまちづくり』について</p> <p>(1) 農業の振興</p> <p>ア 新規就農者育成の立場から農地取得に関する下限面積の見直しについての見解を伺う。</p> <p>イ 農業従事者からの訴えとして野焼きの必要性があるが、そのことについての見解を伺う。</p> <p>ウ 地産地消を推進するにあたり、農家の方とどのように情報の共有を図るのか。</p> <p>エ 生産農家の品質向上と商品の付加価値を図る上で生産農家の所得倍増計画を支援する立場からインターネット販売等の後押しが必要かと思うが、見解を伺う。</p> <p>(2) 観光振興および都市基盤施設の整備について</p> <p>ア 文教のまち西原町の観光資源をどのように育むか。</p> <p>イ 区画整理事業の計画と現状を求める。</p> <p>ウ モノレールの延伸に伴う、モノレール駅の再開発を含めた都市基盤施設の必要性を考えた時、地主等の誘致推進会議（仮称）を設置する必要性について見解を求める。</p> <p>エ キラキラビーチ沿いの県道に避難タワーの設置が必要と思われるが、これまでの検討事項を伺う。</p> <p>(3) 道路網及び排水施設の整備について</p> <p>ア 平園の避難道路でもある町道、呉屋上屋部・小那覇線の改修工事についての見解を伺う。</p> <p>イ 金秀鉄工の東側から小橋川ファミリーマート向けに新設予定の町道についての事業計画を伺う。</p>	<p>町長 農業委員長</p>
--	--	---------------------

	<p>4 その他 産業振興について</p> <p>(1) オキコ移転が遅れている理由についての情報を求める。</p> <p>(2) 地元企業等への町民の雇用についてどのように働きかけているのか、見解を伺う。</p>	町 長
質 問 者	⑭ 長 浜 ひろみ 議 員	質問の相手
<p>1. 困っている人に寄り添える町について</p>	<p>男性トイレにサンタリーボックス設置を。</p> <p>前立腺がんやぼうこうがんで手術を受けた人は、頻尿や尿漏れの症状が起きやすくなる。手術を受けた男性は、尿漏れパッドを着用することが多い。誰もが生きやすい環境づくりが重要と考える。そこで、町の見解を伺う。</p> <p>(1) 本町の公共施設の男性トイレの個室数は。</p> <p>(2) サンタリーボックスを男性用トイレに設置している個室数は。</p> <p>(3) 町に男性トイレにサンタリーボックス設置の要望は。</p> <p>(4) サンタリーボックスを男性用トイレに設置することで、がん患者さんの治療と社会参加の両立を応援し、また、ジェンダーの取組みにも繋がると思うがどう考えるか。</p> <p>(5) 農水産物流通・加工・観光拠点施設等にも、男性用トイレにサンタリーボックス設置の声掛けをしてみてもどうか。</p>	町 長
<p>2. 町民の健康寿命延伸のために</p>	<p>带状疱疹を未然に防ぐために。</p> <p>病になってから治療するのではなく、病を未然に防ぐという観点から</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で、全国的に带状疱疹を発症する高齢者が急増しているが、本町の带状疱疹を発症した人数は。</p> <p>(2) 带状疱疹ワクチンの効果をどのように考えるか。</p> <p>(3) 带状疱疹ワクチンの周知と接種の推進はなされているか。</p> <p>(4) 带状疱疹ワクチンの接種の助成についての考えは。</p>	町 長

<p>3. 福祉行政について</p> <p>4. 町民の利便性とゴミ袋について</p>	<p>出産・子育て応援事業について、本町のこれまでの取り組みを活かしながら、創意工夫に基づく取り組みについて</p> <p>(1) 面談のタイミングはいつ頃になるか。</p> <p>(2) 面談の実施機関・実施者はどこになるか。</p> <p>(3) 面談の対象者は誰になるか。</p> <p>(4) 面談の内容・実施方法は。</p> <p>(5) 経済的支援のタイミングと支給条件は。</p> <p>(6) 支給形態は。</p> <p>(7) 遡及適用者への支給方法は。</p> <p>(1) ガセットタイプゴミ袋が不足しているのか。どこで購入できるか問い合わせがあるが。</p> <p>(2) ゴミ袋の大、中、ガセットタイプ、のゴミ袋の単価はいくらか。</p> <p>(3) 現在買い物をしてマイバッグを持っていないと1枚3円で袋を購入していますが、レジで西原町のゴミ袋でマイバッグ代わりに買ってもらった方が良いのでは。</p> <p>(4) うんたま市場で実証実験してみるのも一つの方法ではないか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>
<p>質 問 者</p>	<p>⑮ 仲 松 勤 議 員</p>	<p>質問の相手</p>
<p>1. 農地法改正について</p>	<p>耕作を目的として農地の権利を取得する場合には、農地法第3条に基づく許可が必要であり、この許可の要件の1つとして下限面積要件があります。下限面積の基準については、農地法改正により地域の実情に応じて農業委員会の判断で別段の面積を定めることが可能となっていました。今回また新たに一部改正が行われました（令和4年5月）。そこには農地法第3条第2項関係に「農地等の権利取得にあたっての下限面積の要件を廃止することとした」とあります。以下について問います</p> <p>(1) これまでの当町における下限面積の実状・課題・対応はどのようなものがあつたか。</p> <p>(2) 今回の農地法一部改正への対応・課題はなにか。</p> <p>(3) 今後の西原町の農業に対しての課題・対策を問う。</p>	<p>農業委員会 長</p>

2. 武力攻撃事態等における国民の保護のための措置について	<p>近隣諸国における紛争や台湾有事の可能性が日増しに強くなっており、抑止力強化について様々な対策が始まっていますが、町においての具体的な住民保護活動は取り残されたままとなっています。以下について問います。</p> <p>(1) 国民保護法とはなにか。(制定年やその背景)</p> <p>(2) 計画での町の責務について問う。</p> <p>(3) 町の国民保護計画で対象とする事態について①着上陸侵入②ゲリラや特殊部隊による攻撃③弾道ミサイル攻撃④航空攻撃とある。具体的な内容としてどの様に町民の命を守る対策があるか。</p>	町 長
3. COVID19 ワクチン接種について	<p>(1) 本町のワクチン接種の現状と課題について伺います。</p> <p>(2) 接種にともなう副反応が疑われる死亡例が増加しているとの声も聞こえており、小児への接種反対の声も多くある。現状や課題・対応など見解を問う。</p>	町 長
4. 給食費の無償化促進について	<p>給食費の無償化について、9月議会の一般質問をした際の回答に対し、改めて質問します。</p> <p>(1) 給食費無償化は、現時点で財政的に厳しいとのことだが、財政的にどの程度、県からの補助額が必要か。</p> <p>(2) 給食費の無償化について、国・県への要請活動を展開したいとのことだが、要請活動の状況を問う。また西原町を担う子供たちをしっかりと守っていくということも町長の公約となっていると思うが、町長の見解を問う。</p> <p>(3) 次期町長選挙において、学校給食の無償化を公約の一つとして検討されるか。</p>	教育長 町 長
5. 高校生(18歳)までの医療費の無償化について	<p>(1) 中学生までの児童生徒の無料化での県と補助費の現状は。</p> <p>(2) 18歳までの医療費無償化にともなう予算額は。</p> <p>(3) 高校生(18歳までの)医療費無償化については、玉城デニー県知事の公約でもあるので、早期実現に向け町長のトップセールス要請に期待したいがどうか。</p>	町 長
6. まちづくり公共工事について	<p>(1) 令和5年度に向けての公共工事計画と予算額(案)を問う。</p>	

<p>7.「先住民族の国連勧告」撤回について</p>	<p>(2) 公共工事等における国・県からの補助交付金(額)は。</p> <p>国連の自由権規則委員会は、11月3日に沖縄の人々を先住民族と位置付けて権利を保障するよう日本への勧告を改めて出しました。県民(町民)が知らないところで、国連において先住民族として認定されてしまっています。勧告までの経緯や内容について県民間で議論する必要性を「沖縄の人々を先住民族とする国連勧告の撤回を実現させる沖縄地方議員連盟」は、県庁記者クラブで会見しました。県民(町民)を「先住民族」と勧告されたことについての町長の見解を問う。</p>	<p>町長</p>
<p>8. 子どもたちにやさしいまちづくりについて</p>	<p>(1) 子どもたちへのまちづくり政策の強化は。</p> <p>町の将来は元より現状への活性化につながります。町長の見解を問う。</p> <p>(2) 待機児童の現状と課題、解決方法は。</p> <p>(3) 認定こども園はどのような園なのか。また、事業計画と進捗は。</p> <p>(4) 学童保育の現状、補助費、また課題は何か。</p> <p>(5) 玉城知事の公約で保育児童全員への保育料金の無償化を掲げました。町長の見解と要請行動は行うのか。</p>	<p>町長</p>